

第1期事業団中長期計画を策定しました！ ～今以上“To Be a Better Corporation”～

令和5年3月、「法人経営」「利用者支援」「人材育成」「地域貢献」を4つの柱とした第1期事業団中長期計画(以下「中長期計画」という。)を策定しました。

現在は、中長期計画に基づき、法人の最重要課題である「人材の確保・定着・育成」を一貫してシームレスな取り組みとしていくための方策を検討する人材マネジメント委員会と4つのプロジェクトチーム(理念検討、こんごう福祉センター敷地活用、ICT化推進、こんごう福祉センターPRと地域貢献)を設置し、それぞれ具体的な計画の立案に向け、議論を進めております。また各事業所においても、それぞれの計画に基づきサービスの質の向上や地域に根差した地域貢献の取り組み等を進めております。

著しい少子高齢化、労働人口の減少、デジタル社会への転換など社会構造が急激に変化する中、ご利用者・ご家族から信頼され職員がいきいきと働ける法人となるよう、全職員一丸となって計画達成のために取り組んでまいります。

令和4年度決算報告

令和4年度の減価償却後の⑤当期資金収支差額合計(経常活動分)は約1億8千万余円となりました。

減価償却に必要な積立を行ったうえで黒字となり、安定した運営ができています。

今年も、福祉・介護職員処遇改善加算収入及び収支差額を財源とし、通常の夏季一時金に加算して職員に支給することができました。

コロナ禍での緊張感ある職務に従事する職員への労いに加え、物価高騰等への対応になればと考えております。今後も安定した経営基盤を維持しつつ、中長期計画に基づき法人の発展に努めてまいります。

【令和4年度 資金収支計算書】 (単位:千円)

勘定科目		法人合計	／(A)
事業活動による収支	収		
	障害福祉サービス等事業収入	4,712,249	67.4
	医療事業収入	943,194	13.5
	介護保険事業収入	535,263	7.7
	運営委託料収入	407,244	5.8
	児童福祉事業収入	199,809	2.9
	その他事業収入	152,930	2.2
	就労支援事業収入	24,250	0.3
	その他の収入	19,705	0.2
	事業活動収入計(A)	6,994,644	100
支	人件費支出	4,727,083	67.6
	事業費支出	930,689	13.3
	事務費支出	551,345	7.9
	その他の支出	43,978	0.6
	事業活動支出計(B)	6,253,095	89.4
	①事業活動資金収支差額(A)-(B)	741,549	10.6
	施設整備等収入計	0	
	施設整備等支出計	199,642	
	②施設整備等資金収支差額	△199,642	
	その他の活動収入計	427,421	
出	その他の活動支出計	1,213,595	
	うち夏季一時金の財源として	(133,764)	※1
	うち⑤支払資金残高からの積立として	(290,672)	※2
	③その他の活動資金収支差額	△786,174	
	④当期資金収支差額合計	△244,267	①+②+③
	夏季一時金への拠出	133,764	※1の再掲
	積立資産への拠出	290,672	※2の再掲
	⑤当期資金収支差額合計(経常活動分)	180,169	④+※1+※2
	⑥前期末支払資金残高	1,605,712	
	⑦当期末支払資金残高	1,361,445	④+⑥

イベント情報

事業者名 障害福祉センター ハートフル

イベント名 おにも見にクルアート展

日程 2023年12月5日(火)～8日(金)9:00～19:30

場所 茨木市文化・子育て複合施設 おにクル 1階 オープンギャラリー

おにも見にクルアート展2023が開催されます。人権及び障がい者福祉の啓発を目的に、障がいの有無、年齢、性別、国籍などにとらわれない個性溢れるアートに触れていただく展示会です。

イベント名 おにも見にクルアート展、ステージイベント

日程 2023年12月5日(火)13:30～15:30

場所 茨木市文化・子育て複合施設 おにクル 1階 多目的ホール
オープニングイベントとして、「ハートフル発表会」や「大阪府障害者福祉事業団福祉啓発」、「手話エンターテイメント発信団oioi」などの舞台をギャラリー横の多目的ホールで行います。

問い合わせ 072-620-9818 担当 山本

イベント名 ジャンベ!アフリカンライブ

日程 2023年11月25日(土)13:30～14:30

場所 茨木市立障害福祉センターハートフル 4階 大会議室

問い合わせ 072-620-9818 担当 山本

事業所名 地域生活総合支援センターあい

イベント名 あいまつり

日程 2023年11月11日(土) 雨天決行

場所 地域生活総合支援センターあい敷地内
茨木市玉櫛二丁目5番8号

問い合わせ 072-636-8817 担当 磯崎

採用情報 (採用HP/SNS)

【採用HP】

職員募集の案内のほか、オンライン説明会・

サロン等の採用に関する情報はコチラ！

<https://www.sfj-osaka.net/saiyou/>

【採用SNS】

採用に関する情報をリアルタイムで発信！

ご登録をお願いします。

X(旧Twitter)
採用アカウント



@sfj_recruit

LINE
公式アカウント



@565nximz

Instagram
採用アカウント



SFJ.RECRUIT2023

大阪府障害者福祉事業団機関紙

かんなび

「法人理念」ともに生きる心を育み ともに歩む社会の実現
「中長期計画スローガン」今以上“To Be a Better Corporation”

2023年(令和5年)
10月1日発行

vol.175

理事長 山田 忠男



平素より当法人の運営に格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、令和5年6月23日付けで飯田前理事長の後任として理事長を拝命した山田忠男です。重責に身の引き締まる思いですが、理事長就任にあたりご挨拶申し上げます。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症のオミクロン株が猛威を振るい、クラスターとなった事業所もあり、日々その対応に追われました。令和5年5月8日より、新型コロナウイルスは5類へ移行し、これからは「withコロナ」の考え方の中で利用者の皆様の健康を見守りながら、生活の質の向上を目指してまいります。

一方、度重なる災害や不安定な世界情勢による物価の高騰等、法人経営に影響するリスクは今後も継続すると考えられることから、適切な経営に努め、更なる事業団の発展のための取り組みを推進してまいります。

当法人は、令和5年3月に計画期間を令和5年度から8年度とする「第1期事業団中長期計画」(以下「中長期計画」という。)を策定いたしました。今年度からは、中長期計画に基づき毎年の事業計画を作成し、中長期計画で定めた目標達成に向けて、着実に計画を実行してまいります。

さて、私が就任にあたり一番に取り組みたいことは「今以上に職場を活性化し、強い現場を作ること」であり、そのために「人材育成を推進すること」であります。

この間3年以上に及んだコロナ禍によって、いみじくも我々の事業は本当に障がい児者の方にとってはなくてはならない仕事だということがあらためて社会的にも再認識されました。その上で我々に今求められているのは、何よりも現場を重視し、現場を活性化し強くするという意識改革を行っていくことです。そのためには、日々現場の第一線で利用者支援を行っている職員一人ひとりが、やりがいを持ち、生き生きと働ける法人づくりを目指さなければなりません。そのことがあって初めて、利用者・家族の皆様から、また地域社会から信頼される法人をつくり上げることができと思っています。

最後になりますが、役職員一同、真に利用者・家族、そして地域の皆様から必要とされる社会福祉法人であり続けられるよう邁進してまいりますので、今後とも変わらぬご厚誼、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



業務執行理事
(事業管理・苦情処理担当)

榎本 浩之

このたび、業務執行理事に就任しました榎本でございます。

担当業務は、事業所の経営管理と利用者等からの苦情解決です。関係者の皆様には、これまでと同様にご指導をお願いしたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

さて、当事業団は、1969年設立当初から社会福祉法人格を持ちながら、出資者である大阪府の方針にそって府立施設を運営することを役割とし、実質的な経営権のない時代が長く続きました。2000年の創立30周年記念行事のテーマは「自律」でした。個人も法人も独り立ちへの憧れがあったのではないのでしょうか。その後、2008年に理念が制定され、法人が意思を持ち始め、暫くして、自立民営化の準備に入りました。2017年の民営化当初は、単年度収支差額がマイナスになる事業所もあり、順調な船出とはなりませんでした。6年を経過し、ようやく全事業所において採算がとれるようになり、将来の建て替えに向けて積み立てもできるようになりました。

事業団は、このタイミングで中長期計画を策定し、「安定経営」と「支援力向上」のための「人材育成」へと舵を切ります。キーワードは「地域貢献」、直接の関係者だけでなくたくさんの方が、それぞれの目的と楽しみを持って集まれる開かれた事業所を作ります。多くの人との関わりの中で人は育つと思っています。

業務執行理事
(危機管理・労務担当)

板橋 裕二

法人の危機管理と職員の労務を担当する業務執行理事に就任し、今、その責任の重さをひしひしと感じています。振り返れば35年前、食品メーカーから転職し、右も左も分からない私の心を支えてくれたのは、利用者の笑顔であり、どんな時も私の話に寄り添って言葉を掛けていただいた先輩職員の存在でした。徹夜で語り明かしたことも少なくはありませんでした。

職員が生き生きとやりがいをもって楽しく働くことができれば、人間関係やコミュニケーションも自然と取れてくる。これが、労務の基本だと感じています。また、そうなれば職員間、事業所間の連携も強くなり危機管理の対応もスムーズに機能すると考えます。

一人ひとりの職員が存在価値を感じ、強くつながる法人になる。そのためには今、何が求められているのか、中長期計画を実行する中で職員が感じている想いや斬新な発想を取り入れ、職員の元気支援を一つひとつ実現していければと思います。

私を35年間導いていただいたこの法人が、今以上に利用者も職員も笑顔で楽しく活気が溢れるよう、微力ですが私の全てを尽くします。



社会福祉法人

大阪府障害者福祉事業団

SFJ事業団 〒584-0054 大阪府富田林市大字甘南備216番地

【法人事務局】

TEL 0721-34-2180

FAX 0721-34-2121

ホームページアドレス

<https://www.sfj-osaka.net>



祝！南海バス路線 運航開始



令和5年6月1日、大阪府障害者福祉事業団発足54年目にして、ついに河内長野駅～こんごう福祉センターを結ぶ路線バスが開通、運行を開始しました。運行開始当日、6時25分の河内長野駅前発の初発便に、路線調整をしていただいた南海バス担当者、法人からは事務局長とこんごう福祉センター長が乗車しました。こんごう福祉センター前では職員の出迎えもありました。

ちなみに、こんごう福祉センター前の次のバス停が終着となりますが、そのバス停の名称が、「こんごう福祉センターかなびのさと前」で、南海バス路線では一番字数の多いバス停とのことです。

往復あわせて1日22本のバスが河内長野駅前～こんごう福祉センターを結んでいます。

河内長野駅からおよそ10分程度でセンターまでお越しいただけるようになりました。

この路線のバスは通常のオレンジ色のバスに加え、復刻塗装版(昔の南海ホークスのユニフォームような)のバスが利用されており、内装も豪華なシートの仕様になっています(どんなデザインのバスなのか、気になる方は是非、直接確かめにお越しください)。これまで遠回りして通勤するしかなかった職員さんの負担の軽減、働くには交通機関がないため、職場として選択肢にならなかったエリアにお住まいの方々と一緒に働くことのできる機会の創出として、これからの活発な利用が期待されます。また、センターのイベントの際に、是非ご利用いただき沢山の方々にお願いいたします。

大阪市内から



バスの中には事業団の
広告も掲示しています！
乗車された際、探してみ
てください！



橋本市内から



センターの取り組み

～人が集い賑わう場所を目指して～

今年度スタートした事業団中長期計画に基づき、こんごう福祉センターのPRや地域貢献、敷地活用について検討するプロジェクトチームが発足しました。

センター内事業所の若手職員の自由で柔軟な発想の力を借りながら、こんごう福祉センターを今以上に魅力的な環境にするべく検討中です。

こんごう福祉センターが障がいの有無にかかわらず、すべての人にとって安心でき、人が集い賑わう場所を目指してまいります。

新しい事業所のご紹介

今年度、こんごう福祉センター内に二つの事業所がオープンしました。

一つ目は福祉型障がい児入所施設「大阪府立こんごう福祉センターさわやか」。開所から50年以上が経過した「大阪府立こんごう福祉センターいのき寮・すぎのき寮」を引き継ぐ形で4月より運営が始まっています。子どもたちも開所時のバタバタからようやく新しい環境にも慣れ、さわやかでの初めての夏休みを過ごしました。40℃近い連日の猛暑のため元気いっぱい外で遊ぶということにはなりませんでした。新型コロナの5類移行も相まって様々な行事・イベントを開催しました。流しそうめんから始まり、バーベキュー、買い物、登山や花火大会など、長かったコロナ禍での我慢を取り戻す勢いでさわやかにはたくさんの笑顔が溢れています。

そして、もう一つはこんごう福祉センター内で唯一、地域で生活されている障がい児の通所支援を行う放課後等ディサービス「星」も開所しました。小、中、高校、様々な年代の子どもたちが元気よく通ってきてくれています。子どもたちがキラキライキイキと輝き成長できることを願って名付けられた「星」。一人ひとりが輝けるよう毎日、試行錯誤しながら支援を行っています。

利用者の思いに寄り添いながらどんどん発展していく、こんごう福祉センターをこれからもどうぞよろしくお願いいたします。



さわやか



星

プロジェクトチーム内で 出てきている活性化案(一部ご紹介)

- ・流しそうめんや焼き芋イベントの企画!!
- ・もっとホタル飛ばそう
- ・クラブ・サークル活動の充実!
- ・夏は花火、冬はイルミネーション

- ・頑張っている職員さんを表彰しよう!!
- ・福祉体験の場
- ・有名店のキッチンカー誘致!

いくつ実現するでしょうか!?

いや、これ以上のことが
起こるかも!?

地域交流 イベント

こんごう福祉センター(多目的広場)

今年の予定

★11/11 パーカッションパフォーマンス
Beat JACK

申し込みはこちら

ご参加お待ちしております!

